広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.7.1
No.549

平成十一年　白根大凧合戦

引く綱にかける情熱

市政クリップ
もうすぐ始まる介護保険
まちの話題
社会を明るくする運動
お知らせ
みんなのページ
シリーズ・人

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

人 PEOPLE

▲厳しく温かい指導に生徒も一生懸命です

『書道県展賞』を受賞

武石陽子さん

「今回の受賞は運もありました」と話す、武石陽子さん(六十三歳・下茨)。今年五月、第五十四回新潟県美術展覧会で、書道千二百十八点の応募の中から『書道県展賞』を受賞しました。

「書道を始めたのは、字が下手だというコンプレックスからです。四十の手習いで始めてみようと、最初はかなを習いましたが、漢字に興味を持ち、今も師事している石丸雨虹先生(長岡市在住)に入門しました。熱心な石丸先生の指導を受けるうちに指導を手伝ってほしいと言われ、師範の資格を取りました」と言う武石さん。

また、頼まれて近所の子供たちに書道を教えるようになったのが十二年前のこと。当時十三人だった生徒は、長岡の教室と合わせて今では八十二人に。「自分が身に付けないと生徒にも教えられない」と、自らの勉強にも妥協のない努力を続けます。

「最近、字が変わってきたようです。受賞作を書いたとき、『自分が書きたかったものに出会えた』と感じました。石丸先生にも『本当に上手になったね』と言われ、嬉しかった」と、穏やかにほほ笑んで話してくれました。

▶数字で見る市勢

※6月1日現在　※( )内は前月比

人口	40,515人(+32人)	
男	19,826人(+18人)	
女	20,689人(+14人)	
世帯	10,741世帯(+27世帯)	
5月中の 出生	32人	死亡 32人
5月中の 転入	85人	転出 51人

編集ルーム

◎今年の大凧合戦では、巻凧が5日間で264戦、大凧は北風に恵まれた3日間で48戦の合戦が行われました。◎優勝という二文字に縁遠かった我が桜蝶組は、なんと20年ぶりの大凧技能優勝を果たし、優勝旗やカップを掲げて、みんなで桜町の町内じゅうをパレードしました。◎前回優勝したときは私は20歳。このまま順調にいけば、次の優勝は60歳のときです。(ま)

古木老木の伝承
～ふるさとの木々～
イトヒバ

ヒヨクヒバは白根では通称イトヒバと呼ばれ、林業関係ではスイリュウヒバと呼ばれています。また、園芸上はヒノキ類に分類され、ヒノキ、サワラ、クロベ、ビャクシン(イブキ)など、世界に約百三十種の仲間の植物があります。

イトヒバはサワラの変種で、枝が細長く垂れています。新葉も下へ向かって伸びます。葉の先が黄色くなる黄斑の出ているのは、オウゴンヒヨクヒバと呼びます。これは、特にタマヒバに多く見られます。

昔は家の前には魔よけとして、土蔵や水倉の前には火災の時の火よけとして植えられ、枯れるまで切ることなく大切にされました。また葉には殺菌力があると言われ、西酒屋では秋になると鮭を捕って新発田藩へ納めていましたが、それを運ぶときにヒバの葉でくるんだそうです。そのような不思議な力があるところから、昔神社ではスギでなく貴重なヒバの木の皮を屋根に用いたといわれています。

白根の古木としてはヒヨクヒバは八本現存しています。写真の木は樹齢およそ二百五十年から三百年くらいです。

■編集／白根市企画財政課秘書広報係(〒950-1292　新潟県白根市大字白根1235番地　☎025-373-2111　FAX 025-373-3933)
ホームページアドレスhttp://www.city.shirone.niigata.jp　Eメールinfo@city.shirone.niigata.jp
■印刷／富士印刷㈱